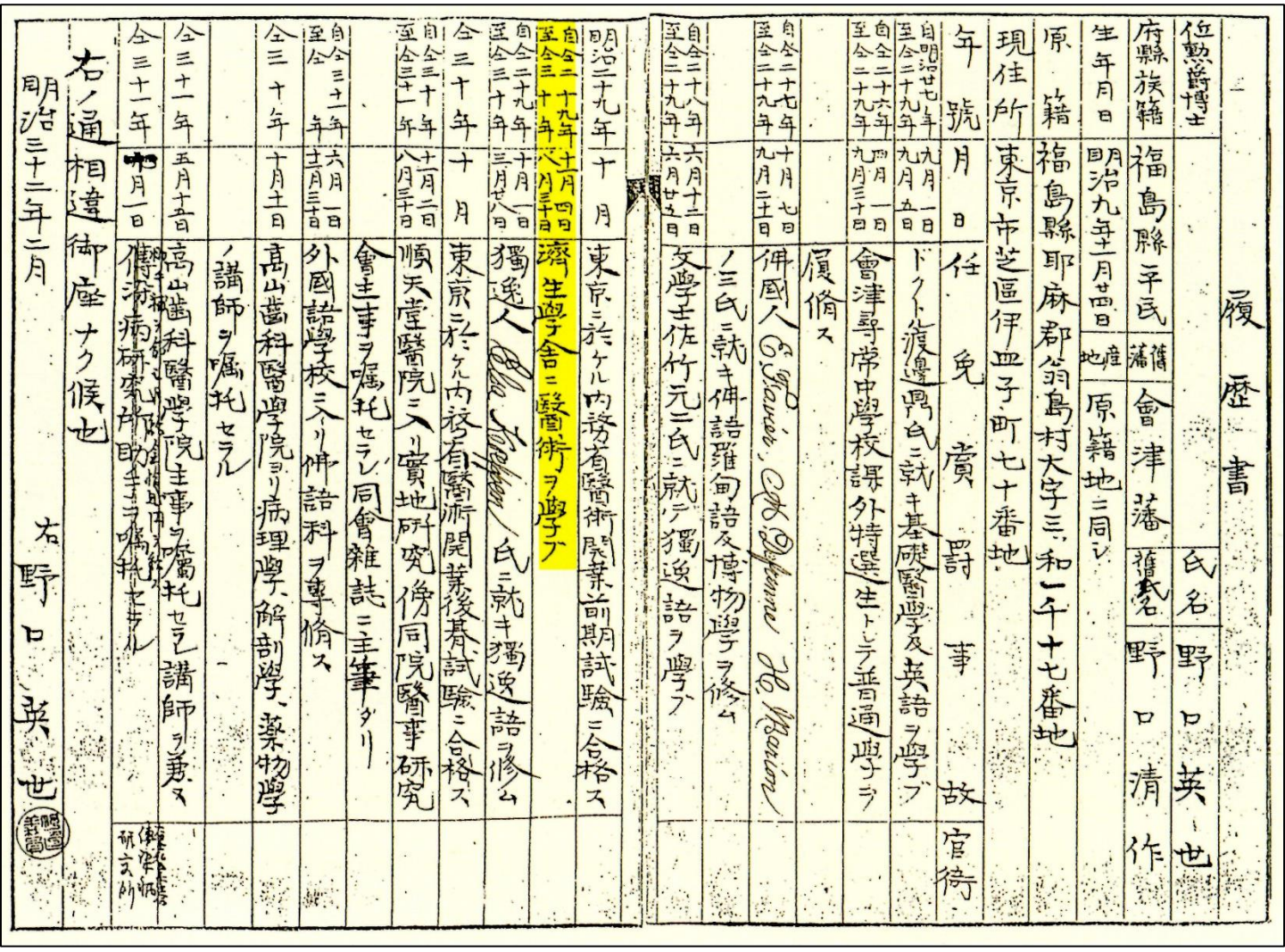
済生学舎時代の

野口英世

野口英世は日本医科大学の源流「済生学舎」出身で知られているが、在籍期間1年未満のため、彼の在籍に関する記録が少ない。

本展示では、野口が済生学舎で学んでいた事実を確認できる資料、野口在籍時の済生学舎で使われたとされる教科書や参考書などを公開しています。

下写真：野口が作成した伝染病研究所宛の履歴書（1898年2月）
書中に、明治29年11月4日から同30年8月30日の期間、済生学舎で医術を学んだ旨が記載（黄線部）
自筆による済生学舎在籍の記録が残る資料
【所蔵：東京大学医科学研究所近代医科学記念館】



履歴書

位勲爵博士
府縣族籍　福島縣平民　舊藩　會津藩
生年月日　明治九年一月廿四日　産地　原籍地ニ同シ
原籍　福島縣耶麻郡猪苗代村大字三和一千十七番地
現住所　東京市芝區伊皿子町七十番地

氏名　野口英世
舊名　野口清作

年號　月日　任免賞罰事故官衙

自明治廿七年九月一日 至仝二十九年九月五日　ドクト復邊學氏ニ就キ基礎醫學及英語ヲ學ブ
自仝二十六年四月一日 至仝二十九年九月三十日　會津尋常中學校課外特選生トシテ普通學ヲ履修ス
自仝二十七年十月七日 至仝二十九年九月二十日　佛國人 C. Sauvin, Ch. Dufresne, H. Martin ノ三氏ニ就キ佛語羅甸語及博物學ヲ修ム
自仝二十八年六月十二日 至仝二十九年六月廿五日　友學士佐竹元三氏ニ就テ獨逸語ヲ學ブ
明治二十九年十月　東京ニ於ケル内務省醫術開業前期試驗ニ合格ス
自仝二十九年十月四日 至仝三十年八月三十日　濟生學舎ニ醫術ヲ學ブ
自仝二十九年十月一日 至仝三十年三月廿八日　獨逸人 Otto Teichen 氏ニ就キ獨逸語ヲ修ム
仝三十年十月　東京ニ於ケル内務省醫術開業後期試驗ニ合格ス
自仝三十年十月二日 至仝三十一年八月三十日　順天堂醫院ニ入リ實地研究傍同院醫事研究會主事ヲ囑托セラレ同會雜誌ニ主筆タリ
自仝三十一年六月一日 至仝　年十月三十日　外國語學校ニ入リ佛語科ヲ專修ス
仝三十年十月十日　高山歯科醫學院ニ入リ病理學、解剖學、藥物學ノ講師ヲ囑托セラル
仝三十一年五月十五日　高山歯科醫學院主事ヲ囑托セラレ講師ヲ兼ス
仝三十一年　月一日　傳染病研究所助手ヲ囑托セラル

右ノ通相違御座ナク候也

明治三十二年二月

右　野口英世

展示：日本医科大学中央図書館